

事業番号	01 03 01	事業改善シート(令和3年度実施事業分)		□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	防災対策推進事業	部局	危機管理部	課・室	危機管理防災課	
		実施期間	S38 ~	E-mail	bosai@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標						
総合的に展開する重点政策	4-1 県土の強靱化					


1 事業の概要

事業の現状・目指す姿(予算編成時)及び実施内容	【現状】	<ul style="list-style-type: none"> 本県において甚大な被害が生じた令和元年東日本台風災害をはじめ、全国で頻発する地震や豪雨などの自然災害を教訓として、新たな課題が指摘されている。 頻発する大規模災害の発生に備え、関係機関との連携や、訓練、備蓄など、平時からの備えの重要性が一層増している。
	【目指す姿】	<ul style="list-style-type: none"> 被害を最小限に抑えるため、市町村や関係機関と連携し、迅速かつ的確な対応を図ることができる危機管理体制を構築し、平時から災害発生時に役立つ効果的な訓練の実施や燃料備蓄などの備えの充実を図る。
	【実施内容】	御嶽山火山マイスター支援制度、「猪の満水」(令和元年東日本台風災害)デジタルアーカイブ事業

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]									
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度目標値	達成状況
1	御嶽山火山マイスター数	人	14	16	↑	18	↑	20	未達成
2									
3									
4									
5									

区分(単位:千円)		R1年度	R2年度	R3年度
事業コスト	前年度繰越額	0	0	69,861
	当初予算額	766,248	2,711,284	376,203
	補正予算額	2,334,405	815,988	58,244
	合計(A)	3,100,653	3,527,272	504,308
	うち一般財源	1,273,445	1,170,784	189,459
決算額(B)		2,972,775	3,435,931	429,042
職員数(人)		7.0	7.0	7.0

成果指標及び目標値の設定理由	1.御嶽山火山マイスターの地域に根差した活動により、地域及び登山者双方の火山防災力向上に繋がるため。
達成状況の分析	1.【御嶽山火山マイスター数】 マイスター志望者等を対象とした基礎講習会を開催し、要件を満たした申込者を対象に認定審査を実施し、審査の結果、新たに2名のマイスターを認定した。目標には届いていないものの、コンスタントな新規マイスターの認定がなされており、広報活動等の一定の成果があると言える。 引き続き、新規マイスターの認定に向けて、御嶽山火山マイスター制度及び活動についてより積極的な周知に努める。

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 噴火災害を語り継ぎ、木曾の魅力を発信する「御嶽山火山マイスター」を育成 <ul style="list-style-type: none"> ・R3年度登録者数 2人(H29年度制度創設からの登録者数 18人) ・御嶽山火山マイスター志望者向け講習会の開催(R3.11月、R3.12月) 参加者10人 ✓ 「猪の満水」(令和元年東日本台風災害)デジタルアーカイブを公開 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年東日本台風災害の記録や記憶を保存・継承するため、信州大学と共同で事業を実施 ・被災・復旧・復興に関する写真やインタビュー動画等を個人、団体、市町村等から収集し、令和3年10月に専用WEBサイトで公開 	
------	---	---

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> 【御嶽山火山マイスター認定・運営支援事業】 ・御嶽山火山マイスターネットワークの今後の活動方針について、御嶽山ビジターセンターの計画と併せた検討が必要。 【「猪の満水」(令和元年東日本台風災害)デジタルアーカイブ事業】 ・引き続き、多くの関係者から幅広く資料収集を行うとともに、本アーカイブを活用した災害伝承や防災教育等について検討が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジターセンターの計画と併せて、マイスターネットワークの今後の活動形態や方向性について、ネットワークと自治体双方で調整・検討する。 ・本デジタルアーカイブを活用した災害伝承や防災教育等について、信州大学、関係市町村と検討を進める。

事業名	防災対策推進事業	部局	危機管理部	課・室	危機管理防災課
-----	----------	----	-------	-----	---------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
1	防災会議費	0 千円	117 千円	129 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	防災会議	直接	災害対策基本法、県地域防災計画に基づく災害・減災対策の推進に関し、防災関係機関等により協議を実施。 【委員会:令和3年12月20日 出席者:防災会議委員64名】

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
2	防災情報システム整備(更新)事業及び保守運用	15,880 千円	15,880 千円	45,331 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	防災情報システムの整備(更新)及び保守運用	委託	防災情報システムの保守管理を行い、災害時に備えて常時情報収集・共有ができるより良い体制の整備を進めた。令和3年度も8月大雨等の複数の災害に見舞われたが、都度、本システムによる円滑な情報共有及び対策が図られた。

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
3	「猪の満水」(令和元年東日本台風災害)デジタルアーカイブ事業	- 千円	9,399 千円	9,492 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	「猪の満水」(令和元年東日本台風災害)デジタルアーカイブ事業	負担金	令和元年東日本台風災害の被災・復旧・復興に関する写真等の資料を県、市町村、関係機関、県民から収集し、専用WEBサイトで公開【10月12日公開 資料約1,300点】

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
4	火山避難施設整備支援事業	- 千円	- 千円	7,883 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	火山避難施設整備の支援	補助金	県内の活火山において、火山防災対策の推進にあたり、市町村が行う噴火時における登山者等の避難施設について、整備に要する費用に対する補助を行った。 【補助金額:木曾町 避難施設の補強 1箇所 7,883千円】

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
5	御嶽山火山マイスター認定・運営支援事業	293 千円	267 千円	218 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	御嶽山火山マイスターの認定及び運営支援	直接	御嶽山火山マイスター志望者等を対象とした研修会を開催。令和3年度は新たに2名の火山マイスターを認定し、制度運用開始から5年で計18名の御嶽山火山マイスターが火山防災のために活動している。 【研修会:R3.11月、R3.12月開催 計2回開催】

事業名	防災対策推進事業	部局	危機管理部	課・室	危機管理防災課
-----	----------	----	-------	-----	---------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
6	御嶽山ビジターセンター整備事業	- 千円	0 千円	0 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	火山防災に関する展示の製作	直接	御嶽山ビジターセンターにおいて、火山防災の普及啓発や災害の記憶・記録の伝承、自然公園の適正利用等を図るための展示等の設計・制作を実施。【事業はR4年度に実施予定】

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
7	名古屋大学御嶽山火山研究施設運営支援事業	11,083 千円	11,083 千円	11,083 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	名古屋大学寄附講座	負担金	名古屋大学寄附講座により、木曾町三岳支所内に名古屋大学御嶽山火山研究施設を設置し、火山専門家と研究補助員が常駐して御嶽山の調査研究を実施。また、活動の中では地元住民を対象とした普及啓発活動も行い、地域に根差した火山防災の普及に重要な役割を果たしている。

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
8	令和元年台風第19号及び令和2年7月豪雨災害被災者支援事業	1,738,413 千円	2,294,776 千円	196,347 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	災害救助費負担金	負担金	令和元年台風第19号災害及び令和2年7月豪雨災害において、災害救助法に基づき市町村が行った被災者への応急救助に係る費用を県が負担。 【台風第19号 対象:4市町 交付額:188,856 千円。】 【7月豪雨 対象:8市町村 交付額:3,741千円】
2	災害弔慰金	補助金	令和元年台風第19号災害の被災者遺族に市町村が支払った災害弔慰金に対する補助を行った。 【対象者数:2名 補助金額:3,750千円】

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
9	災害対応用石油製品備蓄促進事業	43,766 千円	2,460 千円	2,430 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	重要施設・緊急車両向け備蓄	負担金	災害時に病院などの重要施設や緊急車両の燃料を確実に確保するため、発災から1週間の燃料にあたる重油やガソリンなどの一定量を中核給油所等に備蓄。 【中核SS40箇所、小口燃料配送拠点21箇所、配送拠点9箇所、備蓄燃料993KL】

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
10	災害時職員安否確認システム運用事業	- 千円	- 千円	1,099 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	安否確認システムの導入	委託	災害発生時の初動体制や業務継続体制の確保を図るため、職員安否等確認システムを導入し活用のための説明会、テストを実施。 ・R3.10月 システム運用説明会(2回)開催 運用開始 ・R3.12月 テスト配信 ・R4.3月 システム操作説明会(2回)開催

事業名	防災対策推進事業		部局	危機管理部	課・室	危機管理防災課
細事業No.	細事業名		R1年度決算	R2年度決算	R3年度決算	
11	国民保護訓練事業(図上)		80 千円	- 千円	2,140 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)			
1	国民保護に係る国及び市町村との共同訓練(図上)の実施	負担金	緊急対処事態発生時の対応能力向上及び関係機関の機能確認と相互の連携強化による県民の安全確保を目的として、中信地区で訓練実施予定であったが、新型コロナウイルス感染警戒レベル4に引き上げにより中止。			

細事業No.	細事業名		R1年度決算	R2年度決算	R3年度決算	
12	令和3年8月・9月大雨災害被災者支援事業		- 千円	- 千円	24,478 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)			
1	災害弔慰金	補助金	令和3年8月・9月大雨災害の被災者遺族に市町村が支払った災害弔慰金に対する補助を行った。 【対象者数:3名 補助金額:5,625千円】			
2	信州被災者生活再建支援補助金	補助金	令和3年8月・9月大雨災害において、被災者生活再建支援法の対象外の被害を受けた半壊以上の世帯に対し市町村と一体となって支援を行った。 【世帯数:5世帯 補助金額:3,468千円】			
3	災害援護資金の貸付	貸付金	令和3年8月・9月大雨災害により被害を受けた被災者を支援するため、市町村が行う低利融資の原資の貸付を行った。 【対象世帯数:2世帯 貸付金額:2,500千円】			
4	災害見舞金	直接	令和3年8月・9月大雨災害において、被害を受けた「床上浸水(一部損壊)」世帯及び重傷者に対し見舞金の支給を行った。 【世帯数:34世帯 支給金額:780千円】			
5	災害救助費	交付金	令和3年8月・9月大雨災害において、災害救助法に基づき市町村が行った、被災者への応急救助に係る費用を県が負担。 【8月大雨 :対象:5市町村 交付額:9,118千円】 【9月大雨 :対象:1市 交付額2,987千円】			

細事業No.	細事業名		R1年度決算	R2年度決算	R3年度決算	
13	その他事業		950 千円	950 千円	969 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)			
1	火山防災協議会事業	負担金	火山防災において中枢を担う火山防災協議会の運営費用を負担し、広域避難計画策定業務の委託、噴火時等を想定した防災訓練及び火山防災協議会構成自治体の火山防災について理解を深めることを目的とした勉強会を実施。 【負担金額 : 御嶽山 550千円 浅間山 400千円】			
2	国民保護協議会開催事業	直接	長野県国民保護計画の変更について、協議会に諮る予定であったが、消防庁から変更内容が軽微であり協議会に諮る必要がないとのことから未開催。			